

第8回日展

第3科（彫刻） 特選授賞理由

題名

作者名

風

菊川 敏

授賞理由

しっかりと力強く大地に立ち、両手を広げた大きな空間構成である。シンメトリーに近いポーズだが、首の傾きや両手の微妙な違いで全体の動勢もバランス良く、淡い色の着彩と相まって爽やかな風を感じる作品である。

光を求めて

窪 信一郎

授賞理由

石膏彩色の美しいコントラストを表現した力作である。抑制の効いた衣の表現に伸びやかな動勢が確かな造形力に支えられている。細部まで入念に仕上げられており、具象表現の追究に徹した秀作である。

たかい たかい

境野里香

授賞理由

少女が愛猫をたかい、たかいとじゃれ遊ぶ姿が微笑ましくも力強いポーズで構成されている。着色も心温かさを感じる。猫との一体感、親頼感も表現されている秀作である。

ゆく夏～くる夏にエール

田村晴江

授賞理由

麦わら帽子を手に、夏の暑さにひと息ついて立つ清々しい立像である。素直に人体をみつめ、軽やかで伸びやかな動きを感じさせてくれる。そして、しっかりとした形の組み立てが大変心地よい秀作である。

題名

作者名

COVID-19

西沢明比呂

授賞理由

コロナ禍の日常に強く生きる女性へのメッセージが彫刻という造形に結実した意欲的作品である。運慶の「制多伽童子」を彷彿させる風貌で造形性とメッセージ性とを具象彫刻の中に具現化した秀作である。

場所

町野紗恭

授賞理由

裸婦立像。両脚で立つ女性のわずかな体重移動が、心地よいムーブマンを生み出している。豊かな量で表現された優作である。女性が見つめる先の、穏やかな未来を信じたい。

畑仕事を終えて

丸田多賀美

授賞理由

強い存在感を有し、頭部から足先に到るまで確実な彫刻的構成で造形され、大地に根ざした人間性も強く感じられる。土を匂わせる様な程よい彩色で、作品のテーマ性が巧みな表現により遺憾なく発揮されている。

ヨルノムコウ

最上 健

授賞理由

人体を丁寧に観察し素直に表現している。部分に捉われず全体のポーズのもつ美しい流れを大切にし、肉体のやわらかな表現と量感が魅力的な作品である。